

お茶の間の議会情報誌


# 議会通信 しんしのつ

Shinshinotsu Village Assembly Information

第137号

2024年(令和6年)

11月1日発行



尾形香三夫『追悼展』最終日の10月14日、息子の尾形回帰が率いるバンド『HERE』の凱旋ライブで追悼展が締めくくられた。本村出身の尾形回帰(ふらわ)、武田将幸(拓新)、西井慶太(川下)が登場したライブで、「新篠津村にロックを持って来たかった。父の追悼展を開催してくれたお陰で、25年かかったけどやっとこの村に帰って来られた。」と感謝と喜びを語る回帰の言葉に心が震えた。彼らは新篠津小学校で出会い、新篠津中学校の時にバンドを結成した。彼らが育ったこの村にも、こんな音楽の環境があったのだと実感した瞬間だった。(自治センター)

## 決算審査特別委員会

### 令和5年度

# 一般会計と4特別会計の決算を認定

## 総務費

### 大塚委員

東京で開催された北海道移住・交流フェアに本村から出展しているが、どのような成果があったか。

### □ 中井企画政策課長

イベント期間中に本村の出展ブースには約20組の方々が訪れ、職員が問い合わせ等に対応した。

出展ブースにお越しいただいた方々には、村の生活環境や移住・定住者に対する支援制度、子育てに関する支援制度などの説明を行っているながら、小規模の農村であるが都市部に近いことなどのメリットをPRできたと考えている。

### 山元委員

ふるさと納税がかなり実績を伸ばしたのと同時に寄附者に対する返礼品が不足することとなったがどのような対応をしたか。

### □ 山田総務課長

令和5年度は、2億7千万円を超える寄附金収入により対前年度比199%増となった。

そのうち約58%を返礼品などにかかる経費として支出しており、寄附者が希望する返礼品のうち約88%がお米であった。

そのような状況から、お米の在庫がなくなることが予想され、12月27日をもってお米を希望する方の受付をストップするなど対応したところである。

## 民生費

### 山元委員

村内業者へ業務委託している乗合タクシー事業は、利用者が増えており一事業者では負担が大きいと思うが現状はどうか。

### □ 鈴木住民課長

令和5年度の利用者は述べ1649人で前年より伸びている。

受託業者は本業を別に行っており苦労している面もあると思うが、村としても可能な限りサポートしながら事業を円滑に進めたい。

### 大塚委員

福祉人材確保対策就労支援金は、看護・保育などの

### □ 鈴木住民課長

分野へも給付対象を広げていくべきだと思うがそういう議論はされているか。

保育士に対しては、現在、該当者がいれば給付の対象としている。

今のところ給付対象の拡大は検討していない。

## 衛生費

### 山元委員

新型コロナウイルスは公費負担による接種が終了し任意接種となったが、令和5年度の実施状況は。

### □ 岡住民課参事

本村の接種率として、4月から9月までの期間で65



高橋 隆光 委員長

令和5年度の新篠津村各会計歳入歳出決算が、監査委員の決算審査意見書とともに提出され、決算審査特別委員会（高橋隆光委員長・南部隆志副委員長）を設置し、9月9日に審査を行い審査の結果、認定となりました。

主な質疑内容は次のとおりです。

歳以上が70・3%、全体で33・9%、10月から3月までの期間で65歳以上が67・1%、全体で35・0%の方が接種を受けた。

**南部委員**

北石狩衛生施設解体に係る経費は、これまでどのくらい負担しているか。

また、今後の負担金の見込み額は。

**鈴木住民課長**

平成29年度から令和5年度までに47万9千円を北石狩衛生施設組合へ支出している。

また、令和6年度当初予算に負担金71万8千円を計上しており、今年度の支出をもって完了する予定である。

**農林水産業費**

**大塚委員**

畑地化促進事業補助金を申請された方は、100%認められたのか。

**金兵産業建設課長**

当初は全国的に希望者が多く国の予算の関係で十分に配分されなかったが、最終的には申請された方に100%配分された。

**大塚委員**

農地の目標地図について昨年アンケートを行っていたが、10年後、本村の農家戸数の見通しは。

**佐藤農業委員会事務局長**

あくまでも予測の数値であるが、現在60歳以下の担い手がない34戸の農家が10年後に離農等により減少すると想定した場合、農家戸数が184戸程度になると予想される。

**商工費**

**南部委員**

温泉の日助成金は、コロナ禍が収束し前年より実績が伸びたと思うが。

**中井企画政策課長**

温泉利用者は令和4年度から持ち返しており、令和5年度実績は2326人で対前年比49人減となった。

**北川委員**

たつぷの湯の空調設備が整備されたが、稼働後の効果と指定管理者からどのような報告があったか。

**中井企画政策課長**

今回、客室24室、レストラン、事務所の空調設備が整備された。

やはり夏場の時期は快適であり利用する方にとって過ごしやすい環境が整えられたと考えている。

指定管理者からも利用者から好評を得ていると報告を受けている。

**土木費**

**山元委員**

南団地整備事業は、当初の計画より建設棟数を減ら

し1年早く、令和5年度の解体工事をもって完了したが、入居などの状況に影響はないか。

また、周辺道路などの整備は全て完了したのか。



整備が完了した公営住宅南団地

**金兵産業建設課長**

南団地への入居希望者がいるのは確かだが、公営住宅長寿命化計画では、集合住宅の全体戸数は概ね現状の戸数で充足しているのの影響はないと考えている。

**東産業建設課参事**

住宅解体後の残地や道路付け替えによる廃道部分に対しては、状況をみて砂利

を敷くなどの対応をした。

また、自治センター裏の道路を村道廃止としたが、新クリニックの状況を考慮しながら道路計画の見直しも検討したい。

**教育費**

**南部委員**

児童生徒修学旅行費補助金の補助基準は。

**窪田教育委員会教育次長**

保護者の負担軽減を目的として令和5年度から実施した新規事業だが、1人当たり小学生1万5千円、中学生4万円を上限として、修学旅行費の2分の1を支給することとしている。

**北川委員**

運動公園に新たに設置された遊具は、どのくらい利用されているか。

**窪田教育委員会教育次長**

管理人を常駐させていないので正確な人数は把握し

ていないが、オープン当初は1日に50人程度の利用があったと聞いている。

## 一般会計歳出全般

### 大塚委員

ウクライナ情勢の影響で電気料金が決算全体で上がっていると思うが。

### 貝田財政係長

電気料金は令和4年度から高騰しており、令和5年度も高止まりの状態である。主要施設の電気料を集計し、対前年度と比較すると令和4年度より年間約480万円増加している。

## 一般会計歳入全般

### 南部委員

村税の不納欠損を行なっているが、その内容は。

### 伊藤総務課主幹

村民税1件、固定資産税

1件、国民健康保険税1件について行なった。適正執行が求められることから厳正な判断のもと行っている。

### 大塚委員

ふるさと納税で寄附された方が指定する目的別使途の内訳は。

また、しんしのつ天文台の維持管理などを目的として寄附金を募ってはどうか。

### 山田総務課長

寄附金の金額をベースとした割合は、一般寄附30%、子育て支援45%、地域福祉8%、教育文化5%、移住定住2%、観光振興9%であった。

特定の事業に寄附を募るクラウドファンディングは今のところ検討していない。

## 国民健康保険特別会計

### 大塚委員

保険給付費を抑えるために行っている保健予防活動

の取り組みで、課題はなかったか。

### 細道住民課主幹

この数力年はコロナ禍で様々な活動が抑制されたが、健診事業など今まで集団で行ってきたものを工夫しながら継続させてきた。

感染症の区分が5類へ変更されたが、元に戻すということではなくこれまでの取り組みをしっかりと発展させたい。

## 農業集落排水特別会計

### 南部委員

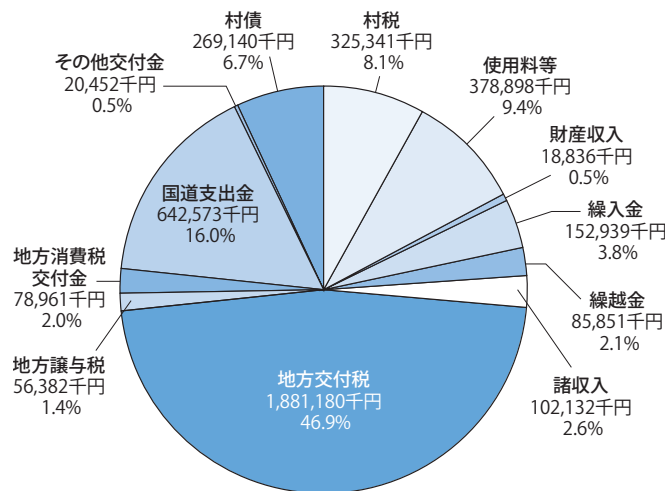
集排事業会計でも不納欠損を行なっているが、どのような扱いをしているか。

### 東産業建設課参事

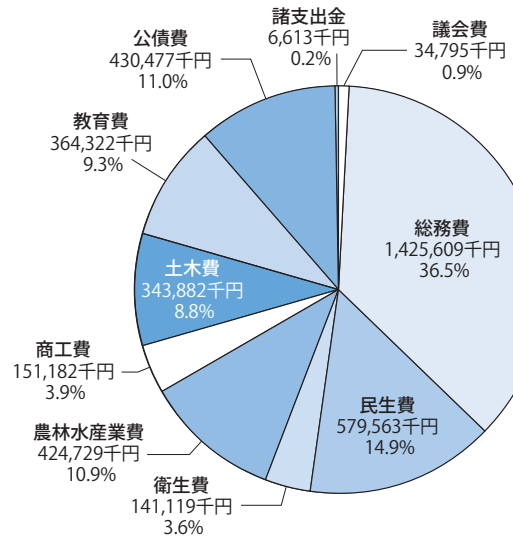
令和6年度から公営企業会計へ移行することから、滞納期間が5年以上経過し、本村から送付する督促状等の郵便物が届かない10件を厳正な判断のもと不納欠損とした。

# 一般会計決算の内容

歳入総額 4,012,685千円



歳出総額 3,902,291千円



令和6年

# 第3回 定例会

令和6年第3回村議会定例会が、9月4日から9日間の会期をもって招集されました。

初日は、補正予算など5件を審議した結果、全て原案のとおり可決・同意しました。

会期中は、付託された案件を審議するため、行政常任委員会及び決算審査特別委員会を開催しました。

最終日には各委員会からの報告を受け、それぞれ決定しました。

その後、追加の補正予算及び意見書案1件、委員会発委1件を審議した結果、原案のとおり可決し、3人の議員から一般質問を行いました。

## 定例会の主な内容

### 専決処分

【令和6年度補正予算】

◎一般会計(第2号)

歳出補正の内容

定額減税補足給付金

638万円

### 条例改正

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

令和6年12月2日から被

保険者証がマイナンバーカードに統一されることに伴い本条例を改正するものです。

### 補正予算

【令和6年度補正予算】

◎一般会計(第3号)

歳出補正の主な内容

・給与システム改修手数料

83万円

・地域情報拠点施設発信映

像制作業務委託料

41万円

・会計年度任用職員報酬

79万円

・児童手当

758万円

・予防接種業務委託料

849万円

・予防接種費助成金

62万円

・観光協会補助金

68万円

・村営バス運行業務委託料

△314万円

・スクールバス

2321万円

〈今回の補正額〉

4982万円

〈補正後の予算総額〉

37億6190万円

【令和6年度補正予算】

◎一般会計(第4号)

歳出補正の内容

・自動火災報知設備改修工事

369万円

〈今回の補正額〉

369万円

〈補正後の予算総額〉

37億6559万円

◎介護保険特別会計(第1号)

歳出補正の内容

・還付金等

2137万円

〈今回の補正額〉

2137万円

〈補正後の予算総額〉

4億4037万円

## 人事

◎教育委員会委員の任命

9月30日で任期満了となる教育委員会委員について新たに山内寛子氏(中原)を任命することで同意しました。

任期は令和10年9月30日までの4年間です。



山内 寛子 氏  
(新任)

## 請願書

請願書1件について、行政常任委員会に付託の上、審議した結果、採択となりました。

なお、採択された請願書については、地方自治法第99条の規定に基づき、政府

## 意見書

◎国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書  
行政常任委員会の提案による意見書案を可決し、政府関係機関へ意見書を、北海道選出国会議員には陳情書を提出しています。

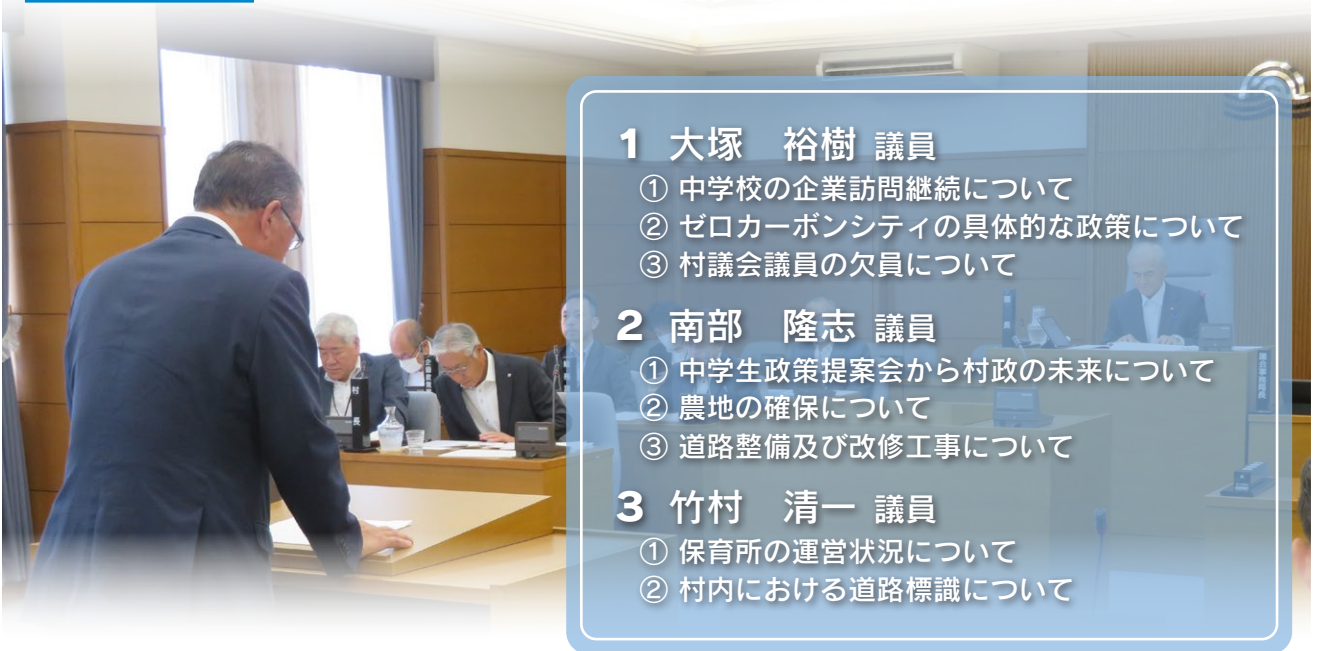
関係機関等へ意見書を提出しています。

件名	提出者	結果
食料・農業・農村基本計画の改訂に関する請願書	新篠津村農業協同組合 代表理事組合長	採 択
	長屋 光一	
	紹介議員 新篠津村議会議員	
	南部 隆志	
	新篠津村議会議員 林 和彦	

# 一般質問

# 村政のここが聞きたい

～3人の議員から8項目を問う～



## 1 大塚 裕樹 議員

- ① 中学校の企業訪問継続について
- ② ゼロカーボンシティの具体的な政策について
- ③ 村議会議員の欠員について

## 2 南部 隆志 議員

- ① 中学生政策提案会から村政の未来について
- ② 農地の確保について
- ③ 道路整備及び改修工事について

## 3 竹村 清一 議員

- ① 保育所の運営状況について
- ② 村内における道路標識について

令和6年第3回村議会定例会が9月4日から12日の9日間の日程で開催され、議会最終日に3人の議員が一般質問し、石塚村長と荒谷教育長に答弁を求めました。  
(紙面の都合により、要約し掲載しています。)



**Q.** 企業訪問による職業教育  
今後も積極的に進めては

**A.** キャリア教育とふるさと教育  
いっそうの充実を図る

## 一般質問

おおつかひろき  
大塚裕樹 議員



動画はこちら

○荒谷教育長 答弁  
中学3年生の研修の成果としてプレゼンテーションの育成、地域への刺激、未来に向けてのビジョン構築など、大変有意義な機会となっていることから、「ふるさと教育」と「キャリア

教育」を推進してまいりたいと思っております。この活動は、今年度も継続され、学校での伝達にしていきたいと思っております。

○大塚議員 質問  
新篠津中学校3年生による政策提案会が7月10日に行われた。  
生徒は4月に修学旅行で東京を訪れ、一流企業への企業訪問を行い、その取り組みを学びながら村の未来に対して多くの政策提言をしていただいた。

○大塚議員 質問  
 今年3月に「ゼロカーボンシテイ宣言」を行い、今年度は地球温暖化対策実行計画策定に向けて検討委員会が行われている。  
 今後、具体的に計画実現に向けて政策立案をしていくなかで、村独自の施策を打ち出すべきだと強く願っている。

**Q.** 村独自の施策を打ち出し  
 地球温暖化対策の実行を

**A.** 総合的施策として検討し  
 持続可能な未来を築く

教育」のいっそうの充実を図るため、今後の継続を考慮しながら教育委員会も学校、生徒と一体となつてしっかりと支援したい。



10月2日に開催された第2回地球温暖化対策実行計画策定委員会

○石塚村長 答弁  
 地球温暖化対策については、地域課題も併せて解決できる政策が望ましいと考えており、地域住民の視点も不可欠である。  
 環境政策は各課にも横断的に関わるものであり総合的な政策であるので、そのような検討も行ったうえで将来にわたる持続可能な新篠津村の未来を築いていきたい。

将来の子どもたちへ環境対策として先送りすることなく、一丁目一番地の政策として力を入れるべきではないか。

**Q.** 議会議員のなり手不足  
 議会をどう維持するか

**A.** 地域の声を反映するため  
 議員数の確保は重要

○大塚議員 質問  
 昨年の4月に行われた村議会議員選挙において、初めて1名の欠員になった。議会としても非常に危機感を感じ、議会改革の先進地である栗山町議会への訪問や他町村へ行政視察も行った。  
 昨年には議会として「議員のなり手不足を考える部会」を立ち上げ、村民アンケート調査も行った。  
 村民の方々の様々な意見も考慮しながら、来年度に実施される議会議員の補充

○石塚村長 答弁  
 議員のなり手不足は、地方自治体において深刻な問題となっており、地域の声を反映するためには、議員の数を確保することが重要と考えている。  
 今年5月に行った議会に関する村民アンケートなど村としても協力してきたところだが、村民が村議会や議会制度をどのようにとらえているのかなど、議会の活性化や議会のあるべき姿を分析し、議員の仕事の意義とやりがいを感じることで、より多くの方が立候補しやすくなるような環境を整えられ、活性化や改革が進んでいけばよいと考えている。

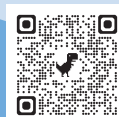


**Q.** 企業理念や事業の考え  
 村政のヒントにしては

**A.** 職員の研修機会として  
 企業との交流も検討する

一般質問

なんぶたかし  
 南部隆志 議員



動画はこちら

○南部議員 質問

7月10日行われた「中學生政策提案会」で、4月に修学旅行自主研修での一流企業4社を訪問し学んだ会社理念や事業展開に加えて、社外地域への発信などを発表していただいた。

今後の村政のヒントになると思うので、中学生の皆さんが視察研修された先の企業1社でも、特別職をはじめとする役場職員に研修をいただき、企業理念や事業への考え方を学んで来ることを検討しては。

○石塚村長 答弁

職員の研修機会は重要と考えており、これまでも「道内先進事例研修」や「国内先進事例研修」に職員研修として参加させ、道内市町村職員と交流を図りながら、いろいろな見聞を広めており、今後も積極的に参加させることを考えている。

現在、次世代半導体の国産化を目指すラピダス社が、千歳市に工場を建設中で、ラピダス社並びに北海道バ

レービジョンが大規模な雇用を作り出す可能性があるといわれており、機会があれば企業との交流も検討したい。

**Q. 農地流動化の停滞  
将来を見据えた検討を**

**A. 事務担当者で議論を進め  
新篠津農業の方向性探る**

○南部議員 質問

先日説明会が行われた農村長期計画では、これからは後継者のいない耕作者による農地幹旋申込みは続くことが想定されており、農地流動化の停滞が課題とされている。

本村もJAや農業委員会など農業団体の構成による企業団を設立し、将来を見据えた検討が必要では。

○石塚村長 答弁

改正された食料・農業・農村基本法では、担い手以外の多様な農業者の位置付け、農業法人の経営基盤の強化などが施策とされた。

今後も稲作を中心とした土地利用型農業を基本に、野菜や花卉などを取り入れた複合経営を推進するのか、農業法人なのか、今後の新篠津農業の方向性を探らなければならぬが、農業振興センター幹事会では、本年度、この議論をまずは事務方で進めることを確認している。

**Q. 広域農道の改修工事  
早期の完了を求める**

**A. 全体の道路状況みながら  
継続して補修工事を進める**

○南部議員 質問

村民の方々からは道路改修の要望が大変多く、特に通称「広域農道」村道新湧西原線について多く寄せられている。

新湧西原線は通勤・通学・通院・物流などの生活道路であり、本村の主要道路として、札幌市・江別市側から北2号まで改修工事は完了している。

しかし、その先は補修が必要な箇所を応急処置のパッチワーク的な修繕がなされているだけで、交通安全の面でも心配である。

早期の改修工事を検討できないか。

○石塚村長 答弁

村道新湧西原線の改修工事は、村道維持補修工事のなかで平成27年度から令和5年度まで、当別町との村界から北2号線まで継続的に工事を行ってきたが、損傷の激しいほかの主要な村道の補修工事が必要となり今年度はその路線の補修を行っている。



整備が進められている村道新湧西原線  
(通称、広域農道)

また、平成初期から平成29年まで継続的に村道新湧西原線の道道への昇格に向けて北海道に要望していたが新規の道道昇格は難しく、既存の道道との区域変更での交換も模索はしたがそれも難しく、結論として道道への昇格要望を断念した経緯がある。

新湧西原線の改修工事の早期の完了であるが、今後の全体の状況をみながら損傷の激しい村道の補修工事を優先しつつ、新湧西原線も引き続き補修工事を実施していく。



**Q.** 半年経過の保育所運営  
現状と今後の見通しは

**A.** これまでの運営を継承し  
認定こども園へ移行する

一般質問

たけむらせいいち  
竹村清一 議員



動画はこちら

○竹村議員 質問  
村では幼児教育の推進と保育サービスのさらなる充実を図るため、今年4月より指定管理者による保育所運営を開始し約半年が経過した。

また今後、村内3カ所の保育所を統合し、一つの認定こども園として運営すると認識しているが、これまでの指定管理者の動き、また保護者、保育士、子どもたちの状況、保育所運営の現状と今後の見通しは。

○石塚村長 答弁  
保育士から1年間は今までどおりの運営をしてほしいとの要望があり、これまでの運営の流れを把握するため現場の意見を尊重し、そのようにしたと指定管理者から聞いている。

保育の質を高め、研修機会の確保や離職防止、認定こども園への円滑な移行を目的に保育所巡回支援事業を実施した。

また、令和6年度からは新たに新篠津村保育所運営



本年4月から運営が指定管理者に移行したひまわり保育所

協議会を設置し、5月と8月の2回運営協議会を行い、保育所運営改革の経過報告や運営状況、行事予定、幼児教育の推進などについて協議を行った。

当初、園児たちの泣き声などが聞かれていたが、現在は落ちついて元気に過ごしており、運動会などの大きな行事も無事に終わったところである。

今後は令和7年3月にたかくら保育所を廃止し、令和8年度から認定こども園への移行を予定している。

○竹村議員 質問  
村は現在、交通死亡事故ゼロ1000日を目指しているところだが、毎日のように痛ましい死亡事故が報道されている。

村内も例外ではなく、いくつか事故が起きるとも限らないので、村を通行する人たちの大切な命を守るため、今いちど、村内で一時停止の標識が必要などところ、警告標識の付いていない交差点などを確認していき対応していかなければならないのでは。

**Q.** 道路標識のない交差点  
今いちど確認が必要では

**A.** 関係団体の協力得ながら  
危険個所を確認し対応する

○石塚村長 答弁  
道路交通法では、一時停止や通行止めなどの「規制標識」は都道府県の公安委員会が設置することになっており、村では江別警察署を通じて北海道公安委員会に要望している。

また、「警告標識」などは、道路管理者である村で設置することになるが、道道については標識などを含め北海道に要望をしている。

村道については、道路状況を確認の上、危険な箇所があれば標識の設置などで対応していきたい。

なお、交差点などでは、のぼりや予告看板を設置して運転者に注意喚起をしてきている。

道路標識の設置は、安全で安心なまちづくりには欠かせないものであるため、交通安全推進委員会をはじめとした関係団体の協力を得ながら、村内の交差点などの危険個所を確認し、これからも各種標識設置の実現に努力する。

新中3年生議会傍聴

新篠津中学校3年生18人が9月12日、第3回村議会定例会最終日を傍聴し、村民の生活に関わる予算審議や一般質問を熱心に聞き入っていました。



傍聴後、あいさつをする阿部佑亮さん

第4回臨時会  
(9月27日)

一般議案

◎物品購入契約の締結について

【物品名】 スクールバス  
【規格及び数量】

中型45人乗 1台

【契約金額】

2243万4370円

【契約相手方】

北海道いすゞ自動車株式会社  
札幌幌西支店

【納期】

令和7年3月31日まで

◎財産の無償譲渡について

【譲渡する財産】

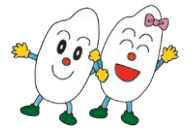
旧新篠津村国保診療所

【譲渡相手方】

医療法人すこやか

【譲渡の条件】

譲渡の相手方は、譲渡後に新クリニックへの設備備品等の病院機能の移転を完了した後に譲渡施設を解体するものとし、その跡地は新クリニックの駐車場等共用地として供されるものとする。



議会の動き



議会議員視察研修

8月27日、28日の両日、幌加内町、沼田町及び北竜町で行政視察研修を実施しました。

幌加内町では、ゼロカーボン施策として取り組んでいる垂直型太陽光発電の実証試験施設やそば殻を原料として製造するバイオコークスプラントを見学させていただきました。

翌日の沼田町では「住みたい田舎」ランキングで毎年上位となっている町の移住・定住施策の取り組みについて説明を受け、その後、意見交換をさせていただきました。

北竜町では、定員割れとなった議員定数の確保に関する取り組みについて説明を受け、その後、意見交換をさせていただきました。



垂直型太陽光パネルの説明を受ける議員



沼田町の移住施策の説明を受ける議員

中央要請活動

9月17日、18日の両日、村内関係9団体(村・農業委員会・JA・商工会・福祉会・土地改良区)と合同で山元議長、高橋議会運営委員長が上京し、農林水産省、国土交通省、道内外選出国会議員に対し、意見書を提出し中央要請活動を行いました。



鈴木憲和農林水産副大臣に意見書を提出

# ～ 議会に関する村民アンケート集計結果 ～

村民が議会や議会制度をどのように捉えているか、また、これまでの議会の活性化の取り組みや今後の議会のあるべき姿について分析するため「議会に関する村民アンケート調査」を実施したところ281名の皆様から回答をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。今回の結果を踏まえ、今後の議会活動・議会運営に活かしていきたいと考えております。

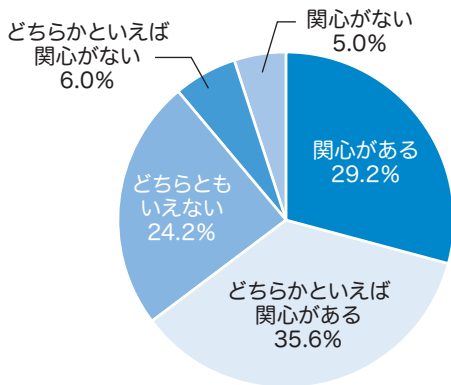
※アンケート結果の一部を掲載しています。

詳細については、新篠津村議会ホームページをご覧ください。

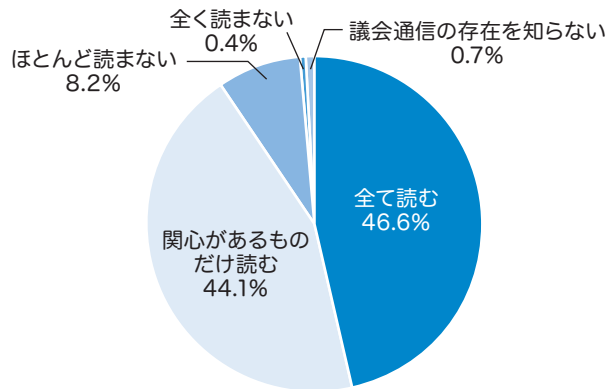
ホームページはこちら▶



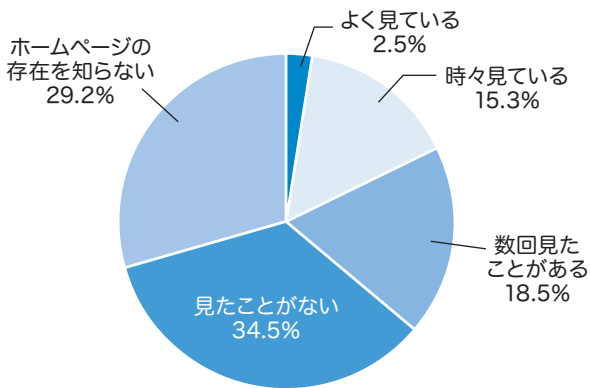
## Q あなたは議会に関心がありますか



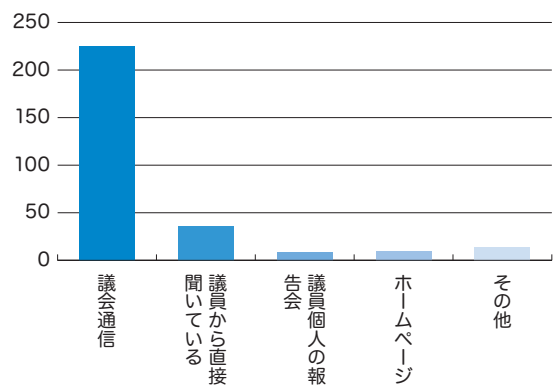
## Q あなたは議会通信をご覧になったことがありますか



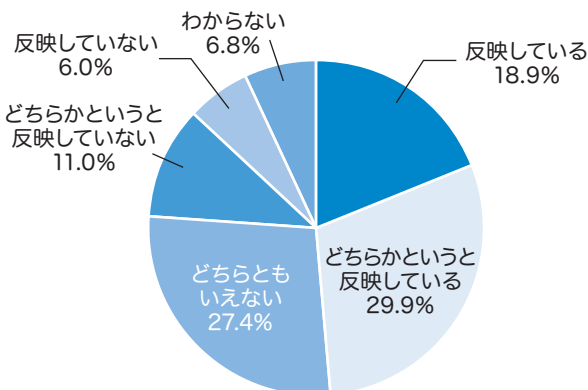
## Q あなたは議会のホームページをご覧になったことがありますか



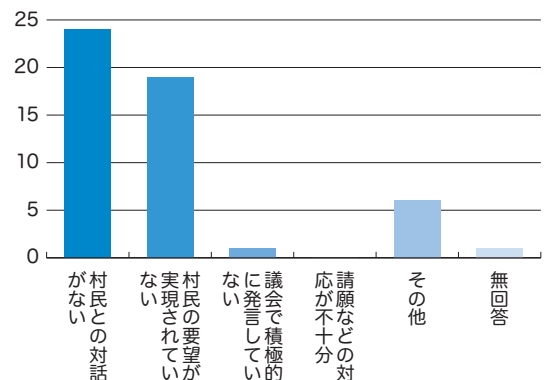
## Q あなたは議会議員の活動状況などの情報をどこから得ていますか (複数回答)



## Q あなたは議員が村民の代表として村政に村民の声を反映していると思いますか



## Q 【反映していない】または【どちらかという反映していない】と回答した理由 (複数回答)



議会日誌

19日	石狩町村議会議長会議員研修会	12日	議会運営委員会	9日	決算審査特別委員会	4日	行政常任委員会
21日	決算勉強会	17日	第3回村議会定例会	17日	中央要請活動	27日	議会運営委員会
27日	道内行政視察研修	27日	議会協議会	27日	議会協議会	21日	所管事務調査
29日	議会運営委員会	21日	議会協議会	21日	議会協議会	21日	議会協議会
2日	村の日記念村民の集い	4日	第3回村議会定例会	21日	議会協議会	21日	議会協議会
4日	議会協議会						

議会通信しんしのつ

議会通信しんしのつは、新篠津村議会ホームページからでもご覧いただけます。



議会インターネット中継

本会議などの中継（録画）をインターネットで配信しています。



議会

議会のしくみ

**【本会議】**  
定例会や臨時会において、全議員で構成する議会の会議のことをいいます。議案の審議や村議会としての最終意思の決定（議決）などを行ないます。

**【意見書】**  
地方自治法第99条の規定に基づき、村議会は村の公益に関することについて国会や国、道などの関係行政庁に対し、議会の意志をまとめた文書を提出することができます。

**【一般質問】**  
執行機関である村に対し、個々の議員が村政全般にわたって事務や事業の執行状況、方針、今後の具体的な計画などについて質問することをいいます。本村議会では、3月、6月、9月、12月の定例会で行なっています。

**【答 弁】**  
定例会の本会議や委員会などで、議員の質疑や質問に対して、村長はじめ教育長や関係課長などが回答や説明を行なうことです。

令和6年 第4回定例会のお知らせ

12月4日(水)  
～12月13日(金) 予定



どなたでも傍聴できます。皆様のご来庁をお待ちしております。

編集後記

朝夕はめつきり寒さも厳しくなり、早いもので今年も残り2カ月足らずとなった。多くの村民から多くの要望の声があるなかで、今回思うことは、ホクレンショップの大規模改修の対応である。私がまだ議員になる直前の令和5年3月定例会を傍聴していた時に、「村民の食のインフラを守るため現在、村内に1店舗しか営業していないホクレンショップを守るのには村の役割ではないか」とある議員の一般質問を聞いた。長い間、更新されていない店舗内の設備や建物の老朽により改修に至ったのだが、当時、関係した人たちの陳情要請などの行動によって、国からの補助金の交付が実現したのだろう。改修中は一時的に店舗の休業もあるが、食料難民をつくらないよう村の協力により江別市のホクレンショップまで送迎バスが運行される。関係機関の最高の支援に感謝しつつ、一人の村民としてこの店舗をできる限り利用していこうと思っている。

(竹村 記)

議会通信しんしのつ (令和6年11月1日発行)



発行／新篠津村議会 編集／議会広報特別委員会  
住所／北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地  
☎(01226) 57-2111